

は じ め に

この報告書は昭和61年度に実施した研究の結果を報告するものである。本年度の研究は昭和59年、60年両年度に亘って行った「東京都区部における住宅市街地の類型化と整備方策に関する調査・研究」をうけて、東京都豊島区の住宅市街地を対象として住宅市街地の類型化を行うとともに、地区レベルのケース・スタディを実施し、地区計画に基本的な方向を与える都市更新基本計画の立案を試みた。また、ケース・スタディをおこなった2地区については地区計画ならびに地区整備計画の案を作成し、地区計画の表現形式についてもコメントしたものである。

なお、この研究内容は以下に掲げる東京理科大学工学部建築学科の学部卒業研究として実施したものであることを付記する。

卒業論文 雨宮忠雄

「都市更新基本計画のための住宅市街地環境の評価
—— 東京都豊島区を対象として —— 」

卒業論文 石原辰次、藤井克也、保田憲孝

「住宅市街地の地区整備手法と地区計画の表現形式
—— 保全型と改善型について —— 」

（本文中、建物用途別現況図など多色刷を要する図面は印刷の都合上割愛したことをお断りしておく）